

第7回奈良市子ども・子育て会議の概要

開催日時	平成26年11月6日(木) 午前9時30分～午前11時30分
開催場所	奈良市役所 北棟2階 第16会議室
報告事項	1. 奈良市子どもにやさしいまちづくり条例(案)について 2. 子ども・子育て支援新制度に関する条例の制定について 3. 部会の審議報告について
議 題	1. 奈良市子ども・子育て支援事業計画素案(中間まとめ案)について 2. 奈良市子ども・子育て会議の所掌事務の追加と部会の設置について 3. その他
決定事項	・事業計画素案(中間まとめ案)についてパブリックコメント手続き実施の承認を得た。 ・新たな部会の設置について、承認を得た。
出席者	出席委員13人(欠席委員1人)・事務局10人
開催形態	公開(傍聴者:1名)
担当課	子ども未来部子ども政策課
報告事項の内容	
1. 奈良市子どもにやさしいまちづくり条例(案)について 事務局より、資料1に基づいて報告を行った。	
2. 子ども・子育て支援新制度に関する条例の制定について 事務局より、資料2に基づいて報告を行った。	
3. 部会の審議報告について 事務局より、平成26年10月30日に開催した「第5回支給認定・利用者負担検討部会」の審議内容について、資料5から7に基づいて報告を行った。	
〔質疑・意見の要旨〕	
栗本委員	近隣の市町村と比べて、奈良市は保育料が安いということがわかりましたが、実際には国基準の65%という保育料設定でこれからもやっていけるのでしょうか。
事務局	奈良市のような厳しい財政状況では、中核市の平均よりも上げていくことが必要なかもしれませんが、今まで奈良市が保育料を他市に比べて安くしてきた流れにおいて、67.5%で何とかやっということうことで、この案を提案させていただきました。
亀本委員	当初出された案と比べると、上げ幅も抑えられたと思っておりますが、特に非課税世帯については再度検討しなければいけないと思っております。すべてを財政と結びつけ、仕方がないという発想をしてはいけないと思っております。家庭の現状が厳しい状態であることと、消費税増税の議論がされている中

での保育料の値上げということを理解していないと、この会議自体の存在意義が問われると思います。

栗本委員 生駒市は住みやすい街と言われ、木津川市も若い人が流入していますが、保育料の部分だけを見ると、生駒市や木津川市の方が高いことから、お金の部分だけでなく、どのようにすれば住みやすくなっていくのかを考えなければいけないと思います。

岡田委員 保育単価に対する奈良市の保育料の割合が、他の市町村とどれくらい違うのか気になります。保育料が高い、安いというのは、受けているサービスとの兼ね合いがあると思いますので、国の基準額に対するパーセンテージだけでは比較しにくいと思います。

大方会長 利用者にとっては、保育料を上げることによって奈良市はこのようなことができるという提案があったほうがわかりやすいので、保育料が上がることによって何かが変わるのかどうかを示していただきたいと思います。

北岡委員 過去に保育所を利用していた際は、状況を全く知らずに保育料が高いと思っていましたが、奈良市は他の市と比べて子育てがしやすいということを知りました。しかし、母子家庭で、働いていてもお金がない人たちにとっては、月額2,300円や3,800円はとても苦しいと思います。

和田委員 質と財政をトータルで見なければいけないと思いました。一般の保護者は基準を知らないで、これは市民にわかりやすく伝えるよい機会なのではないかと思いました。

横尾委員 奈良市が財政難の中、保育料が低いことはありがたいと思います。もし保育料が上がることになった場合、奈良市も他市がしていないような、魅力のある施策があれば子育て世帯も増えてくると思いました。

掘越委員 財政状況だけではなく、どこを改善していきたいのか、それが子どもたちにしっかりと返ってきますということも含めて、わかりやすく説明する責任があると思います。また、非課税世帯の人たちにも、子どものために頑張ってみようという気持ちが持てるように、わかりやすく説明する必要があると思います。

藤本委員 私は保育園を運営する立場から、保育士の待遇や確保について、奈良市に様々な要望をお伝えしています。保育をもっと充実したものにしてい

という意味でも、67.5%は評価できる決断だと思います。

西山委員 全国の市町村で運営の民間委託が行われていますが、保育内容に関して
も民間の方がそれぞれの特色がありますので、費用面の問題を解消でき、
保護者に対してももう少し夢を与えることができると思います。将来の奈良
市のことを考えれば、保育料の上昇よりも、抜本的な施策の改定をしな
くてはいけないと思います。

議事の内容

1. 奈良市子ども・子育て支援事業計画素案（中間まとめ案）について

事務局より、平成26年10月22日に開催した「第8回事業計画策定部会」にお
いて取りまとめた案について、資料3及び4に基づいて説明を行い、パブリックコメ
ント手続きの実施の承認を得た。

〔質疑・意見の要旨〕

亀本委員 教育・保育の質の向上に対する取り組みについて、全国的に保育士の確
保が困難になっており、単に研修したからといっても、質を上げていくこ
とにはつながりません。奈良市としてこの施策の中に、保育士確保を打ち
出していかなければいけないと思います。病児・病後児保育事業について、
提供区域が全市で1つになっていますが、病児保育施設まで連れて行く距
離と、そこから職場まで行かなければいけないことを考えると、なかなか
預けにくいという問題があるので、全市を一括りにするのではなく、各ゾ
ーンという考え方を基本とすることが必要だと思います。

2. 奈良市子ども・子育て会議の所掌事務の追加と部会の設置について

事務局より、所掌事務の追加等について、資料8に基づいて説明を行い、新たな部
会の設置について承認を得た。

3. その他

事務局より次回会議の日程について説明を行った。

資 料

【資料1】奈良市子どもにやさしいまちづくり条例（案）報告

【資料2】子ども・子育て支援新制度に関する条例の制定について

【資料3】事業計画策定部会について

【資料4】奈良市子ども・子育て支援事業計画素案（中間まとめ案）

【資料5】仮利用者負担額（仮保育料）の検討について

【資料6】奈良市の仮利用者負担額（仮保育料）案について

【資料7】奈良市の仮利用者負担額（仮保育料）案月額表

【資料8】奈良市子ども・子育て会議の所掌事務の追加と部会の設置について

【参 考】奈良市の財政状況から見た保育料の考え方